

## 宍粟市 都市計画マスタープラン アンケート調査結果の概要

### アンケート調査の概要

#### 1. 調査の目的

宍粟市都市計画マスタープランの改定にあたり、宍粟市の将来のまちづくり、お住まいの地域の状況などに関する市民の思いや考え方を伺い、その基礎資料とするため。

#### 2. 調査概要

##### (1) 調査概要

##### ①調査地域

山崎都市計画区域に含まれる以下の地区

- ・山崎、城下、戸原の全域
- ・河東地域、神野地域、蔦沢地域、菅野地域の一部

##### ②調査対象

山崎都市計画区域に在住の18歳以上の方2,000人

##### ③調査方法

郵送配布・郵送回収

##### ④調査期間

平成27年2月1日発送、2月15日締切

※2月22日到着分まで集計対象とした。

##### (2) 調査項目

1. お住まいの地域について
2. お住まいの地域でのふだんの暮らしの様子について
3. まちの将来像について
4. 今後の居留意向について
5. 身近な地域のコミュニティ活動について
6. 回答者属性

##### (3) 配布・回収状況

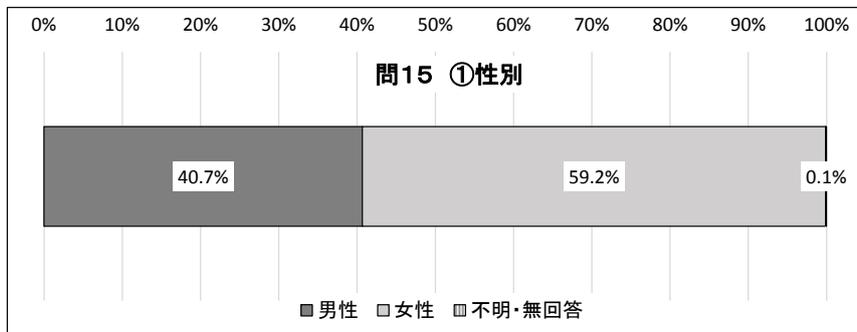
配布数	回収数	回収率	集計対象数
2,000 通	979 通 (平成28年3月11日まで に回収したもの)	49.0%	958 通 (平成28年2月22日 までに回収したもの)

?

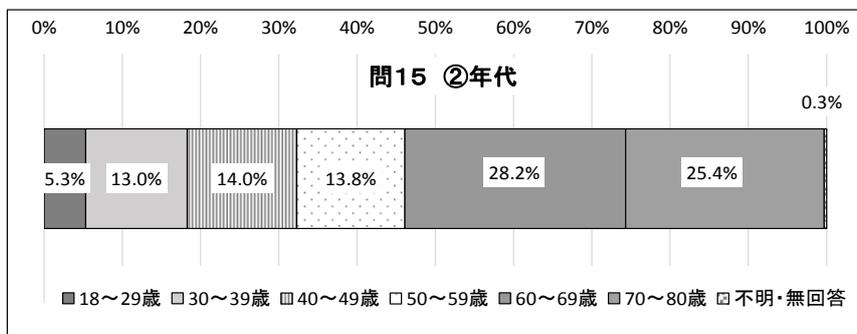
回答者属性

※各設問項目の後ろに記載している **PO** は「宍粟市都市計画マスタープラン策定にかかる市民アンケート調査 調査結果（速報版）」での掲載ページを示します。

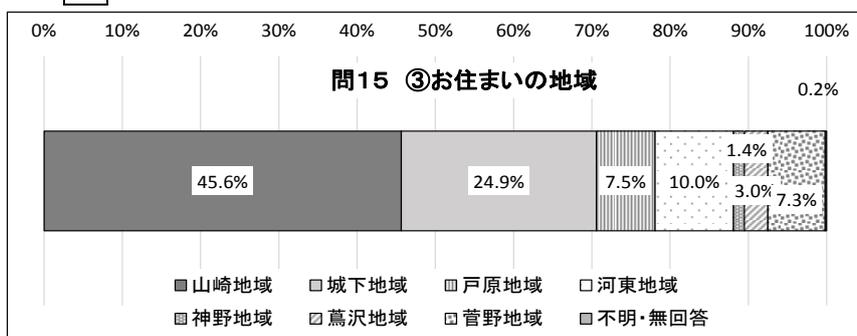
○性別 **P51**



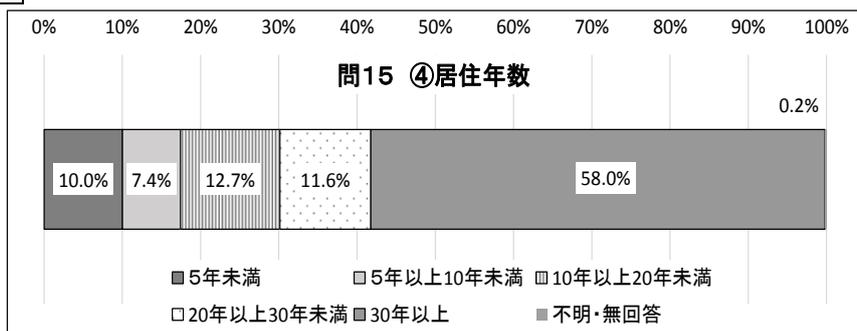
○年代 **P52**



○お住まいの地域 **P53**



○居住年数 **P54**



## アンケート調査結果の概要

### ○お住まいの地域の満足度と重要度 P2~20

※「平均点」は、満足度については、選択肢の「満足」3点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-3点、重要度については、選択肢の「重要である」3点、「やや重要」1点、「あまり重要でない」-1点、「重要でない」-3点、として平均点を出したもの。

- ・満足度が高いのは、「山や河川などの自然の豊かさ」「田園の緑の豊かさ」「買物の便利さ」などで平均点が1.0点以上です。
- ・満足度が低いのは、「河川、がけ崩れなどの防災対策」「医療・福祉施設の整備状況」「バスの便利さ」などで平均点が-0.2点以下です。
- ・重要度はいずれも高く、特に高いのは、「河川、がけ崩れなどの防災対策」「安全に避難できる道路や広場の確保」「医療・福祉施設の整備状況」「買物の便利さ」などで平均点が1.2点以上です。

### ○住まいの地域の土地や建物の状況 P21~26

- ・特に「そう思う」が多いのは、「太陽光発電施設が増えてきた」「空き家・空き店舗が増えてきた」「耕作しない農地が増えてきた」で、「そう思う」と「少しそう思う」が70%以上です。

### ○お住まいの地域でのふだんの暮らしの様子

#### (平日の買物場所) P27~28

- ・大型スーパーが約40%、食品スーパーが約46%を占め、そのほかは15%以下です。
- ・交通手段としては、車・単車が約90%、徒歩と自転車が10%台、バスは1%台にすぎません。

#### (休日の買物場所) P29~30

- ・大型スーパーが約61%、食品スーパーが約23%を占めそのほかは15%以下です。
- ・交通手段としては、平日と同じように車・単車が約90%で、徒歩10%と自転車がそれぞれ10%、バスは1%台にすぎません。

#### (通勤・通学先) P31~34

- ・通勤・通学をしていない方を除くと、山崎町内が33.9%で最も多く、姫路市9.4%、たつの市7.0%、山崎町以外の宍粟市5.1%と続きます。
- ・交通手段としては、車・単車が多く、山崎町以外の宍粟市や姫路市へは約90%、たつの市へは97%、山崎町内でも76.0%を占めます。

### ○まちの将来像について P35~42

- ・将来目指すべきまちの将来像で多く支持されたのは、「買い物など日常生活が便利なまち」(44.9%)、「高齢者や障がい者が暮らしやすいまち」(43.1%)、「災害に強い安全なまち」(35.4%)などです。
- ・市役所周辺について、今後特に充実が望まれるまちの機能として多く支持されたのは、「暮らしの安心を支える医療施設」(48.6%)、「老後の暮らしを支える福祉施設」(38.6%)など。(ただ

し、年代別に見ると 40 代までの世代は、「老後の暮らしを支える福祉施設」より「身近な生活を支える小規模な商業施設（スーパー、商店など）」が多くなっています。

- ・宍粟市にある歴史的文化資源やまちの施設などについて、これからも市の財産として大切にしていきたいと思うものとして多くあげられたのは、「山、川などの自然」（57.0%）、「保健・医療施設」（42.8%）、「良好な住環境」（42.7%）などです。
- ・これからの宍粟市の都市づくりについて、重要だと思われるものは、「空き地・空き家対策」（57.5%）、「既存の住宅地や集落の居住環境の向上」（46.5%）などです。
- ・商業地について重要だと思われるものは、「空き店舗対策」（43.1%）、「中心商業地以外の集落等における商業機能の充実」（37.2%）などです。
- ・工業地について重要だと思われるものは、「企業誘致の推進」（55.0%）、「既存工業の活性化」（33.7%）などです。
- ・農地について重要だと思われるものは、「遊休農地・耕作放棄地対策」（55.4%）、「立地条件に合わせた住宅地や工業・商業用地等への転用」（28.7%）などです。
- ・道路・交通について重要だと思われるものは、「歩道や交通安全施設（照明、ミラーなど）の整備」（43.0%）、「生活道路の整備、充実」（41.9%）などです。

#### ○居住意向について **P43~47**

- ・「今の場所に住み続けたい」が 69.9%を占めており、「市外に移り住みたい」は 11.1%です。
- ・若い世代で市内の別の場所もしくは市外に移り住みたいが多くなる傾向にあります。
- ・「今の場所に住み続けたい」の理由としては、「家や土地があるから」が 67.8%で最も多く、「日常生活が便利だから」が 11.2%で続きます。
- ・市内の別の場所もしくは市外に移り住みたい場所としては、姫路市（16.3%）、宍粟市内（15.0%）、神戸市（10.0%）が多くあげられています。
- ・市内の別の場所もしくは市外に移り住みたい理由としては、「日常生活が不便だから」が 24.4%で最も多く、「通勤・通学に不便だから」が 14.4%で続きます。

#### ○身近な地域のコミュニティ活動について **P48~50**

- ・住み良い地域をつくるための住民による自主的な取組について、現在参加しているものは、「まちをきれいにする活動」が 23.3%と最も多く、「安全を確保するための活動」が 18.3%で続きます。
- ・今後参加した活動としては、「安全を確保するための活動」（17.3%）、「安心して暮らすための福祉活動」（16.2%）、「安心して暮らすための福祉活動」（15.1%）などが多くなっています。
- ・地域コミュニティや組織活動を維持していくために、重要だと思われるものは、「行政による組織活動への助成」（32.3%）、「リーダーの養成や組織づくりの指導」（31.8%）などが多くなっています。